

# 拡大するグローバル調達に対応

## 購買基本方針

### ■最適な原材料および資材、工事の調達

より良い製品を提供するために、最適な原材料および資材、工事の調達に努めます。

### ■取引の公正、公平

公正、公平で自由な競争に基づく取引を行います。また、すべてのお取引先をグローバルな視野で広く世界に求めます。

### ■合理的なお取引先選定

お取引先選定に際しては、お取引先の品質、価格、供給安定性、技術開発力および環境への配慮を総合的に勘案した上で、経済合理性に基づき決定します。

### ■パートナーシップ

お取引先との健全な取引を通じ、対等で公平な協力関係を築き、相互理解と信頼性向上に努め、相互発展を目指します。

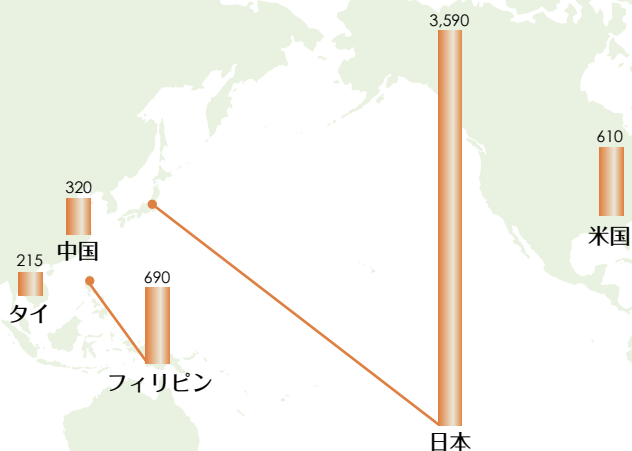
### ■コンプライアンス

購買活動において、すべての関連する法令や社会的規範を順守すると共に、取引上で得られた機密を保持します。また社会通念に照らして誤解を招くことのないよう節度ある行動を心がけます。

### ■環境との調和

地球環境への負荷がより少ない原材料の購買に努めます。

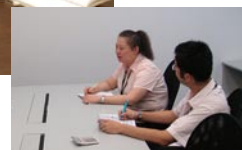
2008年度34%の海外生産能力の比率は、BRICsでの生産拡大でさらに高まる見込みです。



横浜ゴムグループのタイヤ生産能力 (2008年度) 単位: 万本



ヨコハマアジアで調達を担当するローカルスタッフ。右からチャットウロン・シャディル、ビジャダ・ソソリエンチャイ、バクブン・ヒューホン



横浜橡胶(中国)有限公司で調達を担当するモー・エイ(左)

## 公正かつ公平な調達のグローバル展開

海外生産を強化する横浜ゴムグループの海外原材料調達比率は、2017年度に60%を超える見込みです。グローバル調達においても横浜ゴムの購買基本方針を実現するため、取り組みを強化しています。

## 調達戦略拠点をタイに設置

横浜ゴムグループは近年、タイ、フィリピンなどアジアのタイヤ生産拠点で生産能力の拡大を進めました。こうした中、2008年2月、タイに設立したタイマーケティング会社ヨコハマアジアに、タイ、フィリピン、ベトナム、台湾のタイヤおよびMB部門の生産拠点の調達機能を一元管理する拠点を設置しました。同拠点は、市場分析、需要予測、サプライヤーの選定と協働、価格決定といった、本社購買部同様の調達戦略機能を備えるものです。

## 長期的視野に立ったローカルスタッフの育成

全世界的な事業展開を行うためには、各地域に自立した調達体制を確立せねばならず、かつその業務の多くを現地の法令、商習慣や言語に精通したローカルスタッフの手に委ねていかねばなりません。公正な調達機能の現地化には、長期的視野に立った人材の育成が不可欠です。

## コンプライアンス、環境教育を強化

ヨコハマアジアに置いた調達拠点は調達機能現地化のモデルになるものです。このためヨコハマアジアは、経験がなくとも長く勤められる若手に絞って採用し、採用後直ちに日本へ派遣し約2カ月に渡る研修を行いました。研修は調達に関する実務だけでなく、法令順守、公正な取引などのコンプライアンス、グリーン調達、3R、輸送効率といった環境教育に重点を置いています。こうした研修は、すでに米国や中国のタイヤ生産拠点で調達を担当しているローカルスタッフにも定期的実施しています。



グローバル調達の構想を語る横浜ゴム購買部スタッフ。右から大橋賢次課長、秋元和弘課長、小林弘明課長